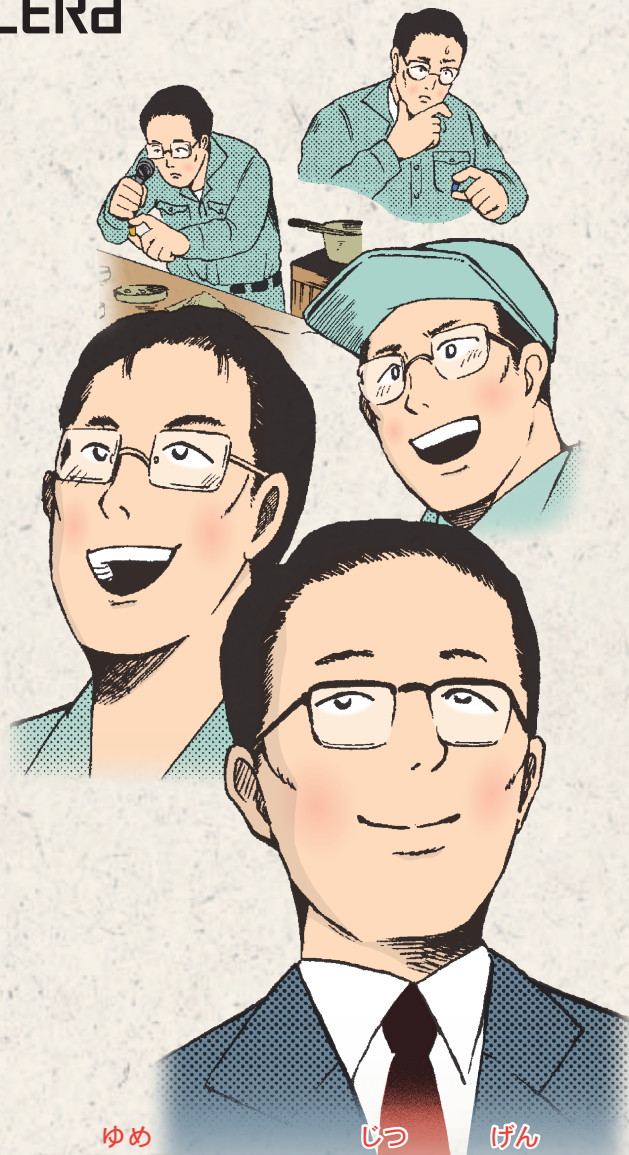


THE NEW VALUE FRONTIER



かなら

ゆめ

じつ

げん

# 必ず夢は実現する

そうぎょうしゃ

京セラ 創業者

いなもり かずお

稲盛和夫ものがたり

# 必ず夢は実現する

かなら

ゆめ

じつ

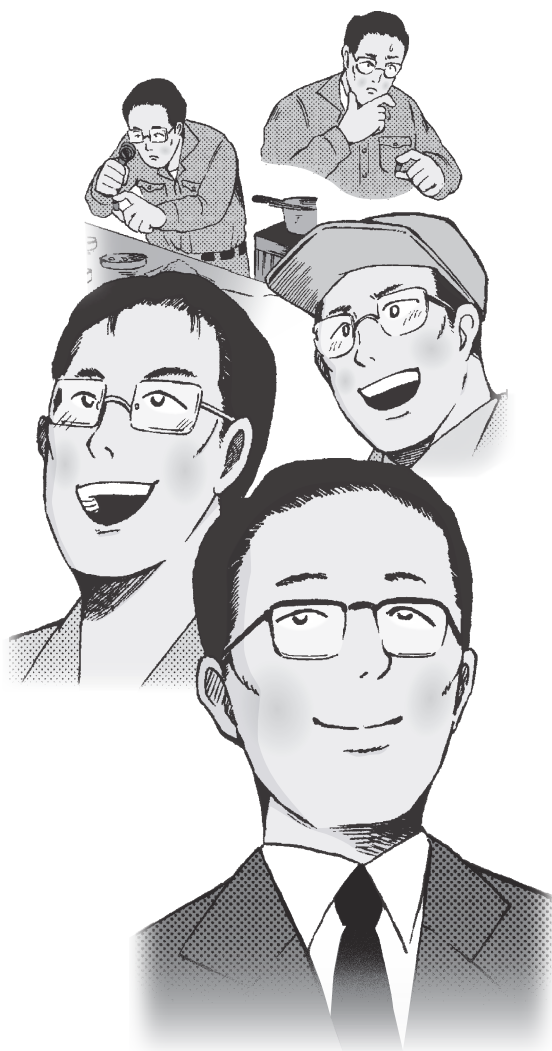
げん

京セラ  
創業者

そうぎょうしゃ

稲盛和夫  
ものがたり

いなもり かずお



太陽電池をつけた  
京セラ本社ビル

京都市伏見区に  
京セラという  
会社がある

焼き物の技術<sup>ぎじゆつ</sup>を<sup>はつてん</sup>発展させた  
フラインセラムミック製の<sup>せいの</sup>  
電子機器<sup>でんしきき</sup>向け部品から  
携帯電話<sup>けいたいでんわ</sup>、太陽光発電システムまで

京セラ株式会社

私たちの生活<sup>わたくし</sup>が便利<sup>べんり</sup>で  
豊か<sup>ゆたか</sup>になる製品<sup>せいひん</sup>をつくって  
世界中で販売<sup>はんばい</sup>している

太陽光発電が広がる町並み<sup>なみ</sup>



創業時メンバー



一九五九年（昭和三十四）  
稲盛和夫という  
創業者が二七歳で  
多くの人に支えられて  
この会社をつくった

会社の経営は  
順調な時もあれば  
大変厳しい時も  
あった

けれども稲盛と  
その仲間たちは  
どんな時にも  
あきらめず  
世の中の役に立つ  
優れた製品の  
研究、開発に  
一生懸命はげんだ

それは 携帯電話やインターネットが  
すごい速さで世の中に行きわたる  
きっかけにもなった  
稲盛がつくった京セラと  
KDDIの二つの会社

二社の売上高を合わせると  
約四兆六〇〇億円（注）とい  
たいへん大きなものになった



そして  
京セラのほかにも  
一九八五年（昭和六十）  
第二電電  
（現 KDDI）という  
会社をつくった

第二電電企画  
設立パーティー



このような  
大きな仕事を成功させた  
稲盛和夫とは  
どのような人物なのだろう

私<sup>わたし</sup>の子ども<sup>こども</sup>のころは  
泣き虫<sup>なみ</sup>で甘えん坊<sup>あま</sup>  
中学受験<sup>じゅうがくけん</sup>に  
二度<sup>にど</sup>も失敗<sup>しっぱい</sup>し  
重い病<sup>重い</sup>気<sup>病</sup>にかかり

大学進学<sup>だいがくしんがく</sup>も就職<sup>しゅうしやく</sup>も  
思うよう<sup>思うよう</sup>にならず  
「落ちこぼれ<sup>おちこぼれ</sup>」の  
一人<sup>ひとり</sup>だったので

けれども私<sup>わたし</sup>には  
先輩<sup>せんぱい</sup>や仲間<sup>なかま</sup>との  
すばらしい  
出会い<sup>でい</sup>がありました

人間<sup>にんげん</sup>として  
正しい<sup>ただしい</sup>考え方<sup>かんがえかた</sup>を持ち  
一生懸命<sup>いっしょうけんめい</sup>努力<sup>どりょく</sup>すれば  
必ず<sup>かならず</sup>夢<sup>ゆめ</sup>は実現<sup>じっけん</sup>します

かならず

ゆめ

じっ

げん

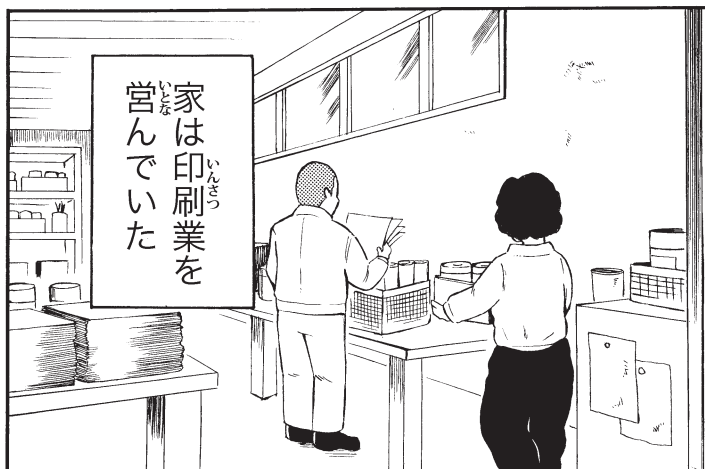
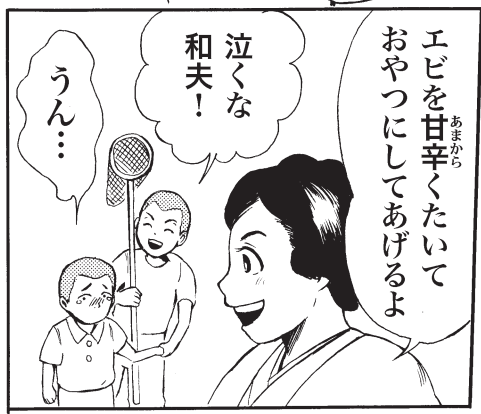
# 必ず夢は実現する

そとぎょうしゃ  
京セラ 創業者

いなもり かずお  
稲盛和夫ものがたり



稲盛和夫 いなもり かずお  
一九三二年（昭和七）  
鹿兒島市に生まれる



行って きまーす!!  
稲盛調進堂



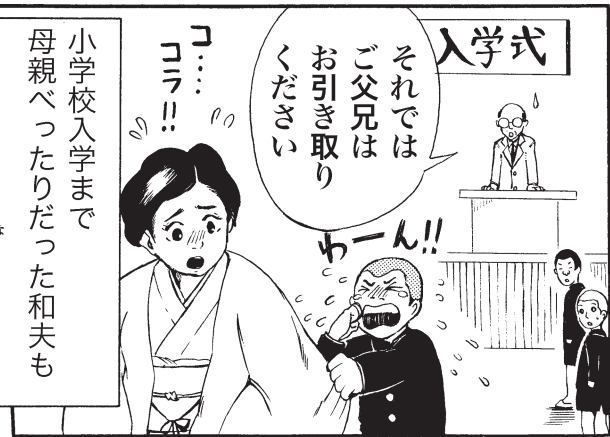
和夫は兄によく遊んでもらっていた



父母は休日でも休まず仕事を**する働き者**



学校に慣れるとガキ大将だいしやうに変身へんしん!



小学校入学まで母親べったりだった和夫も

それではご父兄はお引き取りください

コ... コラ!!

わーん!!



なんとかなるよなー? だってみんな一中受けるんだろ?

うん なんとかなるって!

稲盛いんもりくんならばだいじょうぶだよ



いよいよ卒業の年

名門かごしま鹿児島一中を受験する?

やめとけ 受かりっこない

?!



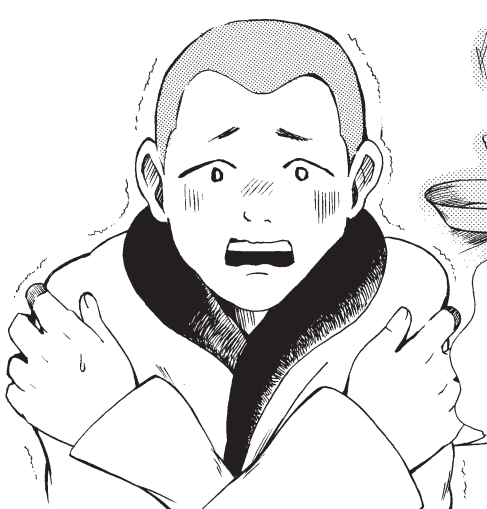


やむなく  
尋常高等小学校へ  
進んだ和夫だったか…



しかし結果は不合格初めての挫折だった

一中の制服…



今度は 当時  
治らない病気と言われた  
結核という病気に  
かかってしまった  
和夫のおじも  
同じ病気で  
体を悪くしていた

ぼくも  
おじさんのように  
血をはいて  
やせていくのか…



それは大人向けの  
宗教書だったが  
和夫の心を打った



和夫ちゃん  
元気出して！  
一度この本  
読んでみなさい  
となりの  
おばさん

わたしたちは心の中に  
磁石じしやくを持っていて  
剣けんでもピストルでも  
災難さいなんでも病氣びやうきでも  
失業しつぎやうでも  
引き寄せるよのです

おじさんの  
部屋の前を  
通るときは  
息止めようつと

うつるのは  
イヤだもんな



だめだつ  
苦しくて息  
吸すつちやつたよ



結局けつぎく 看病かんびやうしている  
父ちちさんも 兄あにさんも  
だいじようぶで

ぼくだけが  
病氣びやうきに  
なつた…



結核けつかくがこわくて  
逃にげていた  
弱い心よわいこころが病氣びやうきを  
引き寄せるよたん  
じゃないか

大事だいじなのは  
心の持ちよう  
なんだ

和夫わふは深く反省はんせいした  
そして だんだんと  
健康けんこうを取りもどしていく

一方いっぽう 太平洋戦争たいへいやうせんそうで 鹿児島かごしまでも  
空襲くうしゆが激はげしくなつていた







八月十五日 終戦 しゅうせん



生活は苦しくなり母が  
ヤミ市で自分の着物を売って  
米を手に入れるような  
生活が始まった



和夫は元気になり  
勉強に打ちこんだ

今度こそ  
がんばろう



そんな時  
数学の  
からしま  
辛島先生が

テスト  
よかったぞ

君も新制高校へ  
行くといい



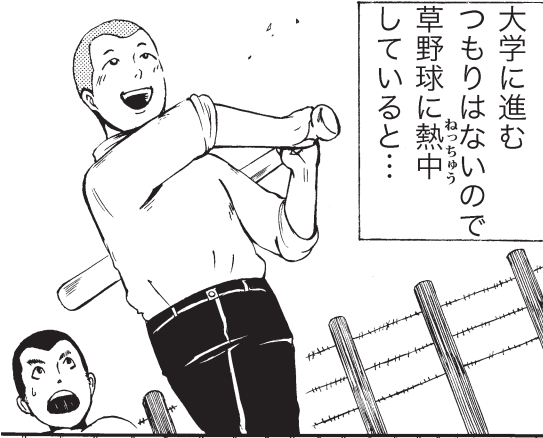
うちは  
兄弟が多くて  
生活が苦しい

父さんは  
ぼくも中学を出たら  
働くものと期待している…  
でも…

先生もすすめて  
くれているし…  
高校を出たら  
必ず就職するから!

ううむ…



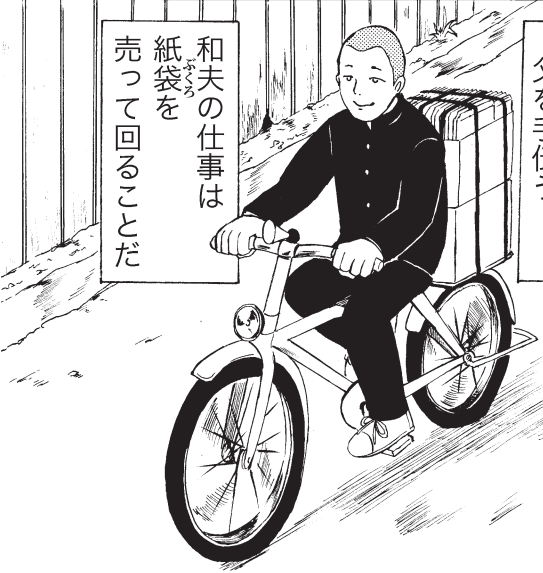


大学に進むつもりはないので草野球に熱中している…



たのみこんで鹿児島第三高等学校に進学

ぐう然にも辛島先生が赴任してきて和夫の担任になった



和夫の仕事は紙袋を売って回ることだ

野球をやめ放課後や日曜は父を手伝う



苦労して高校にやったのに遊びほうけて！

すみません



ちよつとあんた



市内の大きなヤミ市

またあの袋売りの坊やがきたね

いいよちようだいな



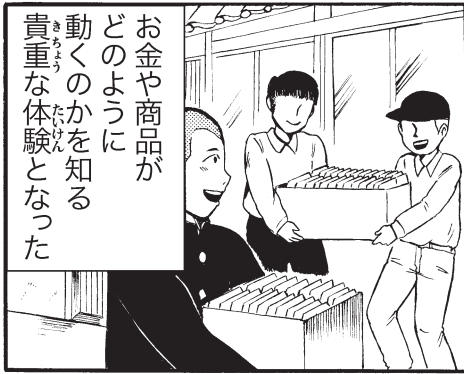
おかげで  
たかさんの  
紙袋がぶくろが売れ  
大忙たいまじしの毎日



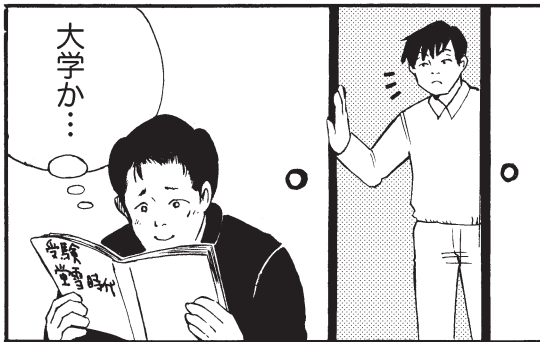
うちは  
菓子かしの問屋とんやで  
鹿兒島かごしま県中の  
駄菓子屋がしやさんが  
仕入れし入れに来るの

袋ぶくろも一緒いっしょに  
たのまれるから  
うちに紙袋がぶくろを  
置いとけば  
何倍なんばいも売れるよ

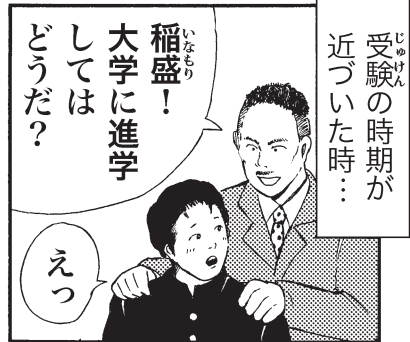
本当  
ですか?!



お金や商品が  
どのように  
動くのかを知る  
貴重な体験たいけんとなつた



大学か...



受験じゆけんの時期が  
近づいた時:

稲盛!  
大学に進学  
しては  
どうだ?

えっ



高校だけだと  
いうから  
許ゆるしたのに  
今度は  
大学か!!



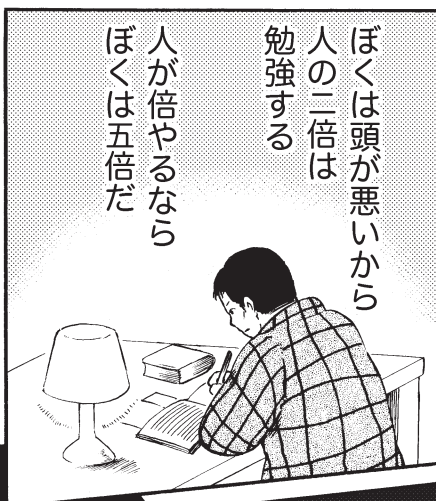
たのむよ父さん  
和夫だけでも  
大学に…

学費は  
自分で  
払います

私からも  
お願いします

うーん  
仕方ない

なんとか  
ゆるめて  
許してもらった



ぼくは頭が悪いから  
人の二倍は  
勉強する

人が倍やるなら  
ぼくは五倍だ

そして  
大阪大学を  
受験しよう



結核を体験した  
ぼくとしては  
医学部に行って  
新しい薬を開発する  
研究者に  
なりたいなあ

しかし結果は  
またもや…

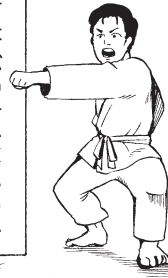


父親の手前  
浪人も出来ず

希望通りではなかったが  
鹿児島大学工学部に入学



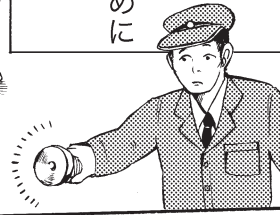
奨学金とアルバイトで学費を払い、金をかからない空手部に入った



参考書が買えないので図書館に通う毎日。その結果、大学の成績はトップクラスの成績になっていた

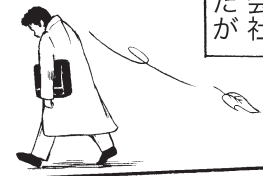


そして大学四年生、和夫に就職の時期がせまっていた



しかし当時は大変な就職難。恩師の紹介で石油会社などを何社も受けたが

すべてだめだった



せっかく大学まで行ったのだ。いい会社に入り、いい給料をもらいたい

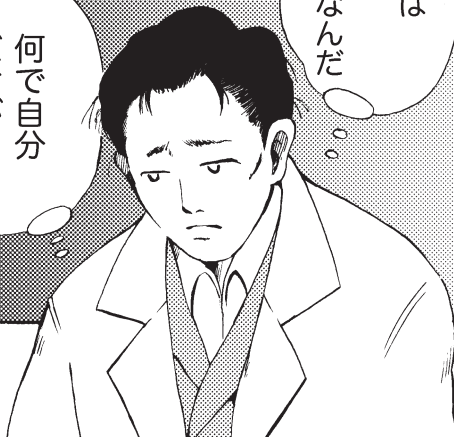


会社が決まったぞ

おれも決まった

世の中はなんて不公平なんだ

何で自分だけが…

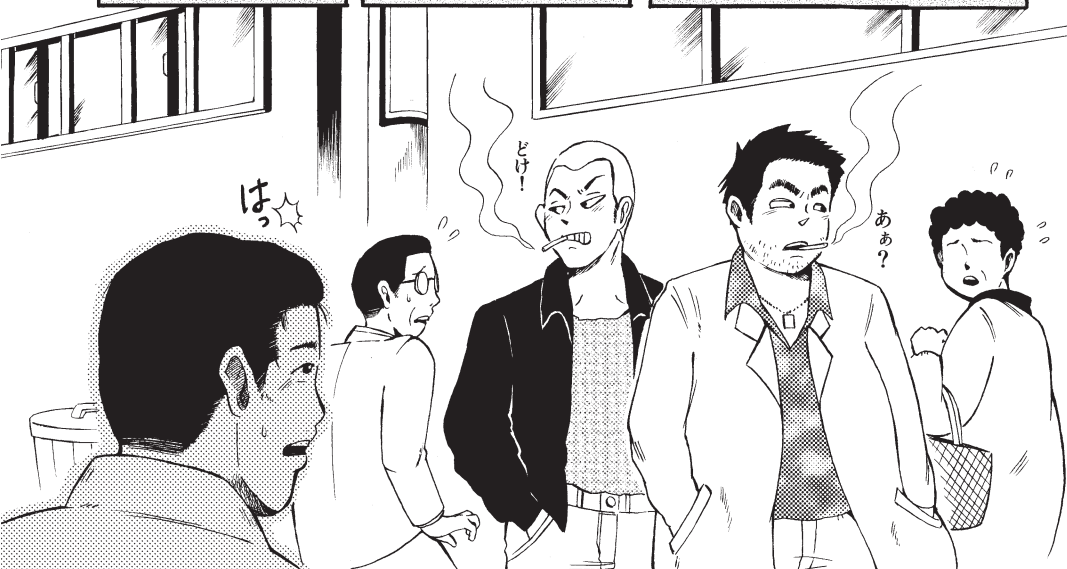


子どものころから

やることすべてが  
うまくいかなかった

きつと運命から  
見放されているんだ

こつなったら  
腕力がものをいう世界に  
飛びこんでやるか…



…いや!

世の中を  
うらんだところで  
人生がうまくいく  
はずがない

それに  
これからは  
うまくいく  
かもしれない  
じゃないか

人生を前向きに  
生きていこう



一九五五年(昭和三十)  
京都 松風工業

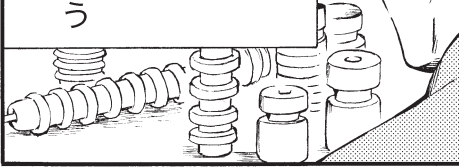
松風工業

日本で初めて  
高圧碍子(注)を  
開発した

注 電気を  
通さない器具

有名な会社って  
聞いたけど……?

教授の紹介で  
就職したが  
碍子や焼き物は  
和夫が学んだ  
学問とは全くちがう  
世界だった



しかも  
大変厳しい  
経営状態で

給料は  
おくれる



寮はあばら家



あんた、  
あんな会社に  
おつたら  
嫁も来んで



惣菜屋さんに  
忠告されて  
しまった  
わびしい生活の  
スタートだった





いっしょに入社した者が  
一人やめ 二人やめ  
秋には和夫ともう一人  
だけになっていた

もうイヤだ  
オレは  
自衛隊に  
入る

そうか…  
ぼくも



松風工業の

大卒の新入社員は  
和夫をふくめて五人

将来が不安だ

早くやめよう



兄さんからだ

ゆうびん  
です



二人で自衛隊の  
幹部候補生学校を  
受験し合格  
しかし…

手続きに  
行かんのか？

手続きに  
必要な書類を  
送るよう  
鹿兒島の実家に  
たのんだが  
まだ届かん

和夫は自分のために  
犠牲になって  
働いてきた  
兄や妹を思い  
申しわけない  
気持ちになった

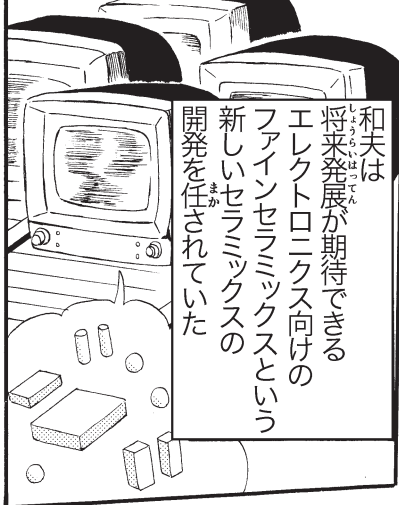


貧乏な家のために  
がんばってくれるだろうと考えて  
無理して大学まで通わせたのに

働きだしたとたん  
会社の悪口を言って  
やめるといふ

会社に入れてもらっただけでも  
ありがたいと思っただけ

利則



和夫は  
将来発展が期待できる  
エレクトロニクス向けの  
新しいセラミックスという  
開発を任されていた



残ったのは  
和夫だけになった

どうせ もう  
行くところはない

グチを言うより  
一生懸命やろう



稲盛君  
すばらしい  
研究成果だ！



食事の時間もおしんで  
てつ夜で研究に  
打ちこむ日々

すると  
面白いことに  
いい研究成果が  
いくつも出てきた

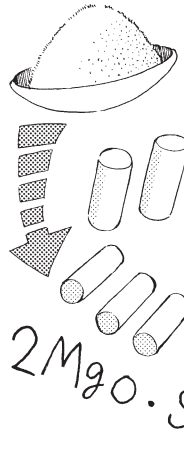
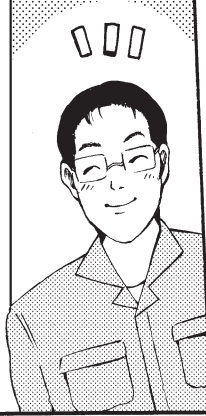


一生懸命やるとうまくいく  
うまくいくとほめられ  
仕事が楽しくなる

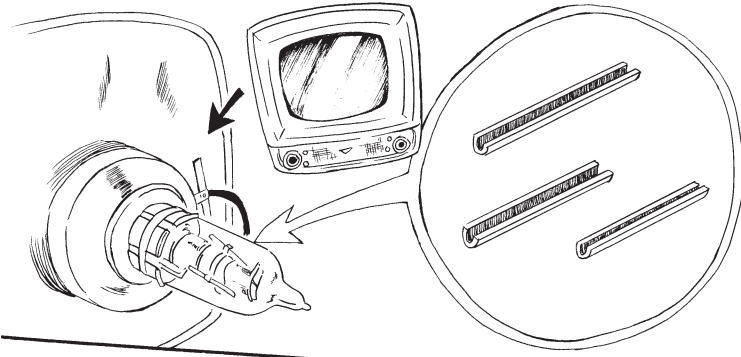
仕事を楽しいと  
もつとがんばれるので  
もつとうまくいく！

こういうくり返しが  
人生にとって  
最も大事なことだと  
和夫は後になって思うのだった

フォルステライトは  
その一年前にアメリカで  
初めて合成された材料で  
和夫は日本で初めて  
開発に成功したのだった



そして一年半後 和夫は  
「フォルステライト」  
という新しい  
ファインセラミックスの  
合成に成功した



さらに  
フォルステライトの持つ  
すばらしい特性を生かした  
テレビのブラウン管用  
絶縁セラミック部品を製品化

和夫と  
彼の仲間たちは  
ひとつの独立した  
部署となり  
着実に売上げを伸ばし  
利益を上げるようになった

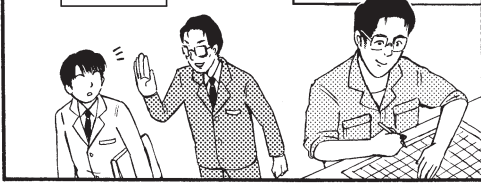




和夫は主任となり  
部品をたくさん  
生産するための  
機械を自分で設計し

元気でやる気のある  
青年を採用した

和夫の熱意に  
引きこまれた若者たちが  
松風工業に入社  
その中には後の京セラ社長  
伊藤謙介もいた



そのころ 日本を代表する  
総合電機メーカーから  
超小型  
セラミック真空管用  
材料開発の注文が来る

うん  
上手く  
行かない

新任の  
技術部長が  
来ましたよ



なんだ  
できないのか

君の能力では  
無理だな  
他のものに  
やらせるから  
手を引け

あなたに  
セラミックスが  
分かるのか

私には無理と  
いうなら  
会社をやめます!!





注・京都セラミツク(現 京セラ)



西枝一江

私の家を  
担保に注

えっ  
西枝さん

私たちの  
ために

会社をつくって  
いただいた

京都セラミック株式会社  
かぶしきがいしゃ

京都セラミックは

一九五九年

(昭和三十四)四月一日

従業員二十八人で

京都市中京区にあった

宮木電機の倉庫を

借りて仕事を始めた

専務は  
青山

社長は  
宮木

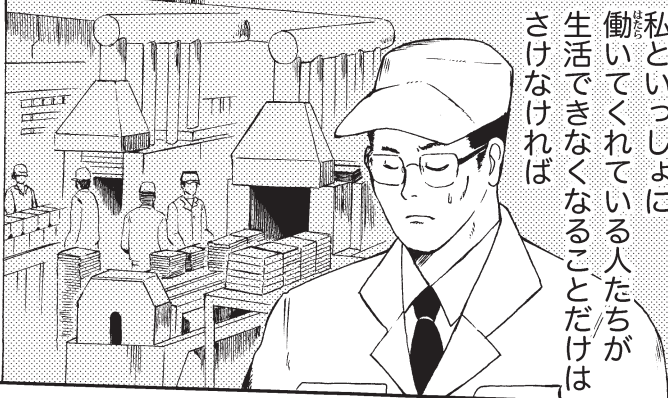
和夫は

取締役技術部長だったが

実際の経営はすべて任された

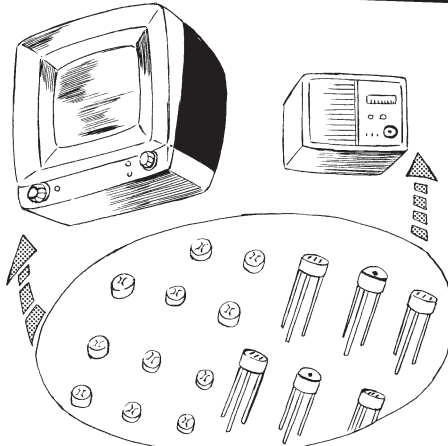
注・お金を借りるときなどに、代わりに預ける土地や建物などのこと

もし事業が失敗して私といっしょに働いてくれている人たちが生活できなくなることだけはさげなければ



そうした思いが通じて会社は創業の年から黒字経営で順調なスタートを切った

一九六〇年代中ごろにはテレビやラジオなどにトランジスタが大量に使われるようになっていた



京都セラミックスはその部品開発に成功米国や香港の会社から大量注文がもらえるようになった

一九六六年(昭和四十二)には米国の大手コンピュータ会社IBMから大型コンピュータ用の集積回路用基板二千五百万個の注文を受ける



やった！  
大口注文だ

しかし…IBMの品質基準が  
高すぎます！  
うちでは向こうの満足する製品は作れないかもしれません





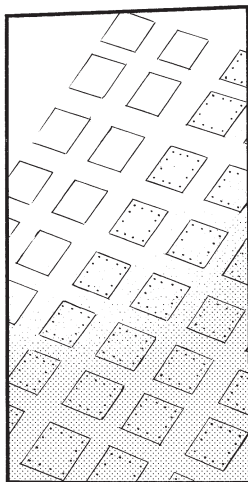


いや！きつと出来る  
今のうちの技術では  
難しくてもこれから工夫して  
高めていけばいい！

この厳しい基準を  
クリアできれば  
うちの技術は世界最高  
ということになる

みんなでがんばろう！！

はいっ！！



IBMの仕事をつけてから  
二年間 和夫は盆も正月も  
ろくに休まず働き続け  
部下を上げました

IBM向け  
最後の製品を  
積みこんだ  
トラックを見送り  
和夫は思った

ばんざーい！！

人間の  
能力は  
無限だ

何としても  
やりとげる  
という強い願望を持って  
努力を続ければ  
最初は不可能に思えた  
ことも可能になるんだ



京都の中小企業きぎょうでしかなかった京都セラミックスは世界のIBMの注文に見事ことに応えた



すごい企業きぎょうだな  
京セラは……!



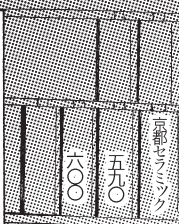
問い合わせが殺到さうとうしています!

京都セラミックスの業界内での評価ひょうかが一気に高まり次々と注文が入るようになった

こうして京都セラミックスは大きく発展はつてん  
一九六六年（昭和四十二）稲盛いなもりは社長しゃちょうに就任しゅうじんする



新規上場しんきじょう銘柄めいが



一九七一年（昭和四十八）には大阪証券取引所に上場した創業そうぎょう十二年のスピード成長で一流企業いちりゅうきぎょうの仲間入りなかまを果たしたのだった

一九七三年（昭和四十八）オイルショック 稲盛いなもりの中に石油資源せつ油にたよることへの反省はんせいが生まれる

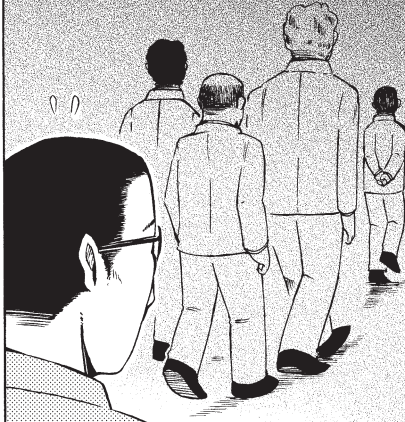


これからは自然エネルギーを使う太陽光発電たいやうこうはつでんの事業化じぎょうかが必要ひつようだ

一九七五年（昭和五十）京都セラミックスの呼びかけで日本五社が「ジャパン・ソーラー・エナジー」という会社せうがいを設立



そして研究開発をすすめたが  
なかなか製造コストが  
さがらず 赤字が続いた



おまけにオイルショックが落ち着いて  
石油に頼ることへの危機感が  
うすれてくると

太陽電池への社会的関心は  
急速に低くなった

ジャパンソーラー・エナジーから  
各社は撤退(注)を申し出る

注・やめてしりぞくこと

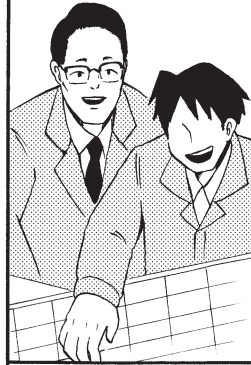
これは 世のため  
人のための事業だ

新しいエネルギーとして  
太陽電池を  
実用化するという  
志があつて始めたことだ

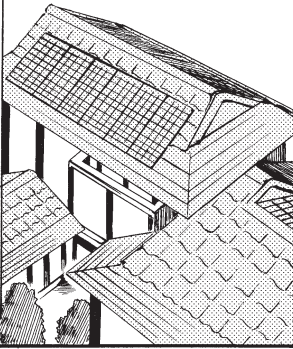
少々の困難で  
あきらめず  
赤字覚悟で  
京セラだけで  
太陽光発電の事業を  
続けて行こう



一九八二年（昭和五十七）  
多結晶シリコン太陽電池の  
量産に世界で初めて成功  
その後この技術は  
世界中で使われるようになる

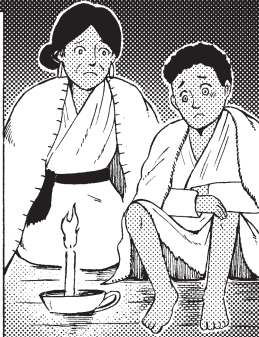


一九九三年（平成五）には  
京セラが日本で初めて  
住宅用の太陽光発電システムを  
発売した



地球温暖化対策は  
人類共通の課題  
クリーンなエネルギーを作り出す  
太陽光発電の重要性は  
ますます高まっている

私たちは電気のある  
暮らしが当たり前

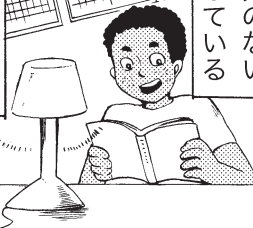


しかし世界には  
電気の通わない地域で  
暮らしている人が十六億人

世界のだいたい  
四人に一人が電気のない  
不便な暮らしをしている



そんな地域でも  
京セラの太陽電池が  
人々の生活に役立っている





# いろいろな 場所で 活躍する 太陽電池



じゅうたく  
住宅



トヨタ・プリウス

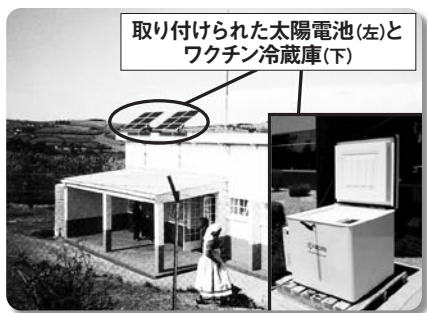
自動車



ショッピングセンター



ソーラー発電所(スペイン)



取り付けられた太陽電池(左)と  
ワクチン冷蔵庫(下)

太陽電池で発電した電気で動く  
ワクチン用冷蔵庫(南アフリカ)

一九八二年  
(昭和五十七)  
京都セラミックは  
京セラと社名変更

# 京セラ株式会社

京セラには  
創業以来積み立ててきた  
手持ち資金が  
一五〇〇億円ある



このうち  
一〇〇〇億円を  
私に使用させて  
ほしい

# ザ ワッ

電電公社(現NTT)の  
民営化など通信事業が  
自由化の方向に向かった  
一九八三年(昭和五十八)  
稲盛は京セラの取締役会で  
第二電電(現KDDI)という  
新しい会社をつくることに  
了解を求めた

それまでの日本では  
電電公社だけが  
電話などの通信事業を  
することができた

電話代が  
高いよー  
早くきつてー

新しい電話会社が  
できれば  
電話代も安く  
なるのではと  
期待されていた

他の国と比べても  
日本の通信料は  
かなり高かった



電電公社

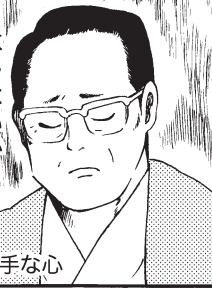
電電公社は巨大企業で  
すでに全国にはりめぐらせた  
通信網を持っていた

急成長した京セラでさえ  
電電公社とは  
比べものにならない  
これではまるで  
巨象に挑むアリである



稲盛は半年間自分自身に問いかけた  
「私が新しい電話会社をつくるという  
その動機は善なりや 私心はなかりしか」

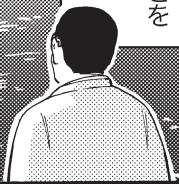
自分の名を  
残したいという  
私心(注) がありはしないか？  
国民の利益のためという  
動機に一点のくもりもないか？



注・自分勝手な心

人のために尽くしたいという  
純粋な志がゆるがないことを  
確かめた稲盛はついに  
心を決めたのだった

よし  
やはり  
この事業に  
乗り出そう



一九八四年(昭和五十九)  
京セラが中心となり

第二電電企画

(後の第二電電)を設立

その後 他にも

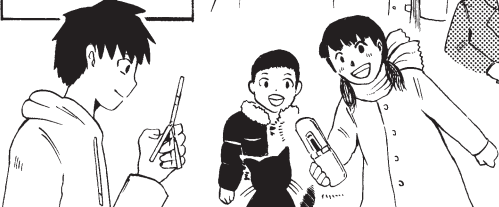
二つの電話会社が出来たが  
第二電電は稲盛を中心に  
全社員の努力で

三社の中でもトップを走り続けた

祝・おトクな市外電話0077サービス



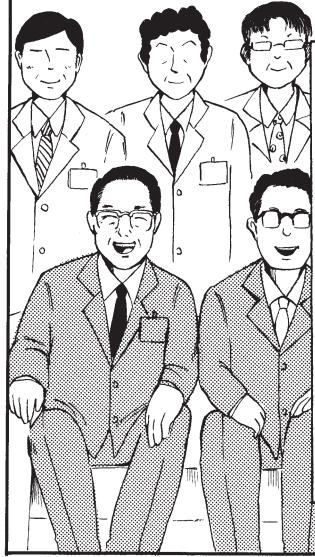
現在では携帯電話の  
「au」ブランドなど  
多様な通信サービスを  
提供している



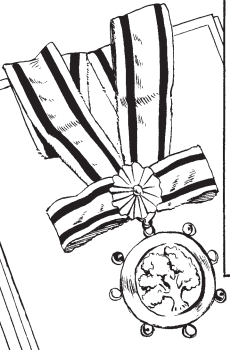
京セラが創立二十五周年を迎えた  
一九八四年（昭和五十九）

「人のため世のために役立つことを  
なすことが人間として最高の  
行為である」という信念から

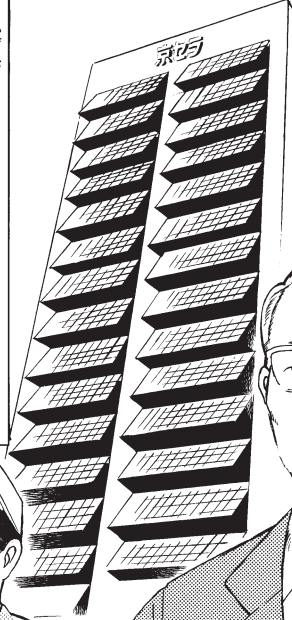
稲盛は「私財二〇〇億円（注）を投じて  
「稲盛財団」をつくり



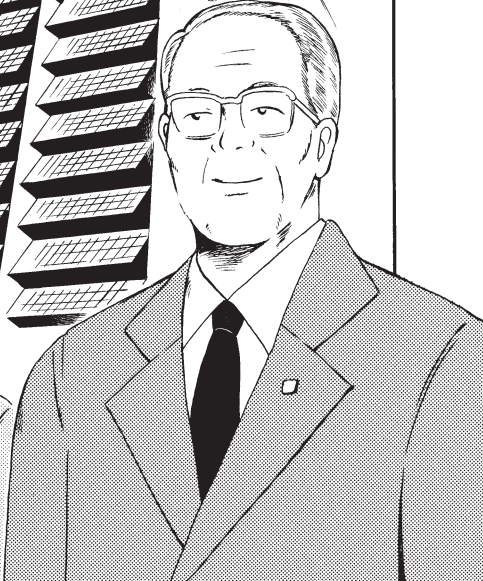
以来、毎年秋に  
人類の発展に貢献した  
世界の優れた科学者や  
哲学者、芸術家などに  
「京都賞」を贈っている



注・2009年3月31日現在、正味財産61.9億円

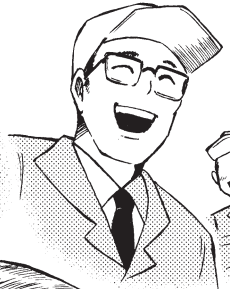
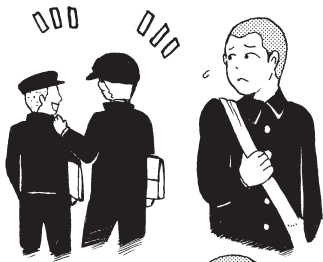


稲盛和夫が二七歳で  
京都セラミックスを創業してから  
二〇〇九年（平成二十）でちょうど五十年  
倉庫から始まった仕事の場は  
高さ百メートル級の  
高層ビルの本社に変わっても  
「全従業員の物心両面の  
幸福を追求すると同時に  
人類、社会の進歩発展に貢献する」  
という経営理念に変わりはない



京都セラミックス株式会社





愚痴をこぼさずに  
明るく前向きに  
努力を続けることです  
心の中に善き思いを  
描き続ける事が  
最も大切なことなのです

人間として正しい考え方を持ち  
一生懸命努力を続ければ  
必ず夢は実現します！

人間には確かに運命があるが  
大切なことは  
幸福であれ 災難であれ  
神様が与えてくれた  
試練なのだ  
受け止めることです

幸運は  
感謝の気持ちで受け止め  
慢心せずに  
さらに努力をすること  
災難は嘆かず うらまず  
腐らず ねたまず



# 稲盛和夫のあゆみ

| せいれき げんごう<br>西暦(元号) | ねんれい ねんごう<br>年齢 | ねん ぶ<br>年譜   |  |
|---------------------|-----------------|--|--|
| 1932年<br>(昭和7年)     | 0歳              | か こしま やくしちやう<br>鹿児島市業師町に生まれる(写真)   |  <p>母と兄とともに(左)</p> |
| 1938年<br>(昭和13年)    | 6歳              | か こしま<br>鹿児島市立西田小学校に入学   |  |
| 1944年<br>(昭和19年)    | 12歳             | そつぎやう か こしま<br>鹿児島第一中等学校を<br>受験するが失敗し、尋常高等小学校に入学   |                    |
| 1945年<br>(昭和20年)    | 13歳             | けっかく ね じつそち<br>結核で寝こんでいる時に、『生命の真相』を読む<br>空襲により実家が焼ける   |  |
| 1948年<br>(昭和23年)    | 16歳             | か こしま<br>鹿児島市高等学校第3部に進学  |                    |
| 1951年<br>(昭和26年)    | 19歳             | か こしま<br>鹿児島大学工学部応用化学科に入学  |  |
| 1955年<br>(昭和30年)    | 23歳             | か こしま<br>鹿児島大学を卒業後、京都の碍子製造会社松風工業に入社(写真)、ファインセラミックス*<br>の研究にたずさわる *まじり気のない質の高い材料を使い、厳しく管理された作り方で作られる特しゅな磁器(焼き物) |                    |
| 1958年<br>(昭和33年)    | 26歳             | じしゆつ ぎしゆつ<br>上司である技術部長と技術開発の方針で衝突し、松風工業をやめる<br>青山政次部長とその友人西枝一江氏、交川有氏らの助けにより、<br>新会社設立を決意                       |  |
| 1959年<br>(昭和34年)    | 27歳             | かぶしき そつぎやう<br>京都セラミック株式会社を創業   |                   |
| 1963年<br>(昭和38年)    | 31歳             | し が がちやう しんせつ<br>滋賀蒲生工場を新設   |  |
| 1966年<br>(昭和41年)    | 34歳             | きばん<br>IBMより大型コンピュータ用の集積回路用基板を<br>大量に受注 大変な忙しさの中、社長に就任(写真)   |                  |
| 1969年<br>(昭和44年)    | 37歳             | か こしま せんたい しんせつ<br>鹿児島川内工場を新設し、IC用セラミック多層パッケージを生産<br>アメリカに会社を設立  |  |
| 1971年<br>(昭和46年)    | 39歳             | しやうけん<br>大阪証券取引所第二部、京都証券取引所に株式上場   |                  |
| 1972年<br>(昭和47年)    | 40歳             | か こしま こくぶ しんせつ<br>鹿児島国分工場を新設   |  |
| 1975年<br>(昭和50年)    | 43歳             | こうべん<br>日米4と合併でジャパン・ソーラー・エナジー株式会社(JSEC)を設立し、<br>太陽電池の開発を開始   |                  |
| 1976年<br>(昭和51年)    | 44歳             | しやうけん かぶしきしやうじやう<br>米国証券取引所へ株式上場(写真)   |  |
| 1979年<br>(昭和54年)    | 47歳             | せつりつ<br>トライデント社(電子機器メーカー)設立、<br>サイバネット工業(通信機器メーカー)買収   |                  |

せいれき げんごう  
西暦(元号)

ねんれい  
年齢

ねん ぶ  
年 譜

|                  |     |  |  |
|------------------|-----|--|--|
| 1982年<br>(昭和57年) | 50歳 | 社名を「京セラ株式会社」にする  |  |
| 1983年<br>(昭和58年) | 51歳 | 株式会社ヤシカ(カメラメーカー)を合併<br>若い経営者のための経営塾、盛友塾(現:盛和塾)が発足                      |  |
| 1984年<br>(昭和59年) | 52歳 | 自分の資産を使い、稲盛財団を設立、<br>理事長に就任 第二電電企画株式会社<br>(後の第二電電DDI)を設立、会長に就任(写真)     |    |
| 1985年<br>(昭和60年) | 53歳 | 第一回京都賞授賞式を行う   |  |
| 1986年<br>(昭和61年) | 54歳 | 京セラの会長に専任  |  |
| 1987年<br>(昭和62年) | 55歳 | 関西セルラー株式会社(携帯電話通信事業者)を設立   |  |
| 1989年<br>(平成1年)  | 57歳 | エルコ(コネクタメーカー)を買収   |  |
| 1990年<br>(平成2年)  | 58歳 | AVX(電子部品メーカー)を合併(写真)   |    |
| 1994年<br>(平成6年)  | 62歳 | 株式会社DDIポケット企画(PHS通信業者)<br>を設立  |  |
| 1995年<br>(平成7年)  | 63歳 | 京都商工会議所会頭に就任   |  |
| 1997年<br>(平成9年)  | 65歳 | 京セラ、第二電電の会長職を退き、取締役名誉会長に就任<br>臨濟宗妙心寺派円福寺で得度*<br>*仏の道に入ること              |  |
| 2000年<br>(平成12年) | 68歳 | 三田工業(複写機メーカー)を支援し、京セラミタ発足 DDI、KDD、IDOが<br>合併し、KDDI発足 KDDIの名誉会長に就任(写真)  |  |
| 2001年<br>(平成13年) | 69歳 | KDDIの最高顧問に就任   |  |
| 2004年<br>(平成16年) | 72歳 | 児童養護施設・乳児院「京大和の家」<br>(京都府相楽郡精華町)を創設                                    |  |
| 2005年<br>(平成17年) | 73歳 | 京セラの取締役を退任(写真)   |  |
| 2006年<br>(平成18年) | 74歳 | 九州大学名誉博士号を授与される<br>ケースウェスタンリザーブ大学名誉工学博士号を授与される                         |  |
| 2009年<br>(平成21年) | 77歳 | 世界規模で起業家*育成に貢献し、起業家精神を伝えるために最も<br>ふさわしい人物に与えられる「世界起業家賞」を受賞<br>*会社をつくる人 |  |

---

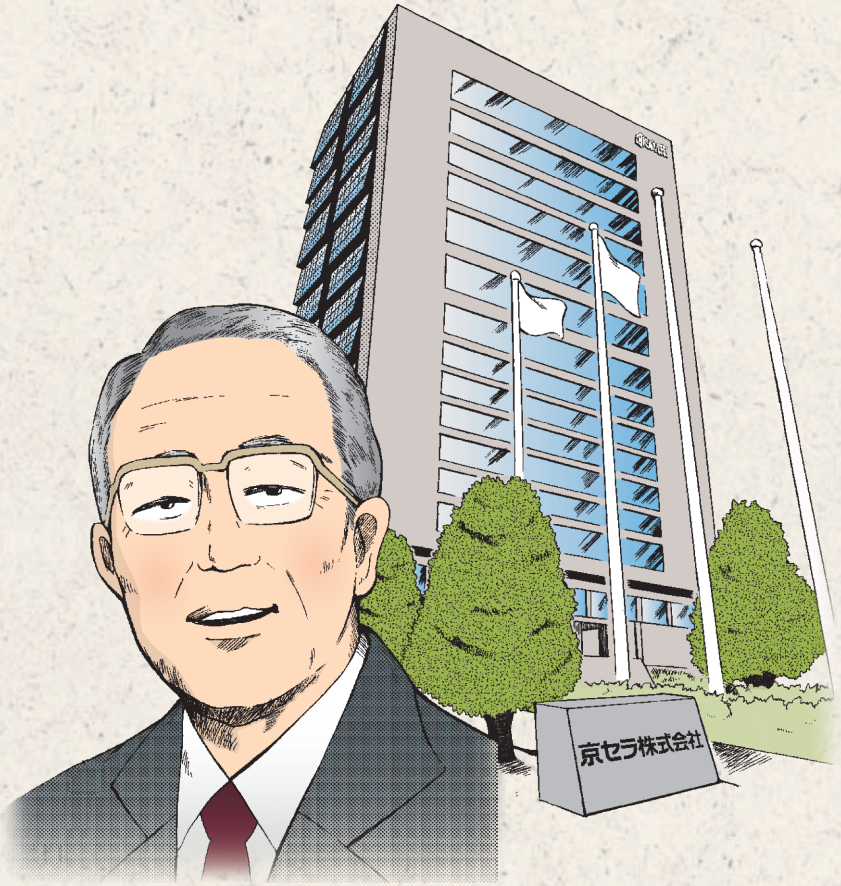
かなら ゆめ じつげん  
**必ず夢は実現する**  
そうぎょうしゃ いなもりがすお  
京セラ 創業者 稲盛和夫ものがたり

---

平成22年1月 第1版 第1刷 発行

発行所 京セラ株式会社  
作画 吉田一行  
データ編集 鳳山佳子（京都嵯峨芸術大学）  
原案 吉川勝司（京都新聞論説委員）  
制作協力 竹中らんこ（京都嵯峨芸術大学）





京セラ株式会社